

[様式2 (汚染水処理対策委員会に報告し、一般公開となるものです)]

御提案書	
技術分野	① 汚染水貯蔵 (タンク等) (「技術提案募集の内容」の該当番号を記載願います)
御提案件名	タンクの連結方法
御提案者	三宅 勇次

1. 技術等の概要 (特徴、仕様、性能、保有者など)

タンクは剛体の配管とバルブで連結されている。この状態で地震が発生した時、内部の液体はタンク毎に固有の振動が発生します。タンクの側板が個別に振動するということは、連結配管の長さが増減する結果となります。

長さが変化すれば、配管の長さは一定の剛体であり、切断されるか、タンクとのつなぎ目に亀裂が生じます。

溶接タンクへ置き換えるのには賛成ですが、緊急措置としてタンクの連結をはずしてください。

H3エリアAグループNo.10 タンク底部フランジ近傍の様子



当該箇所雰囲気線量はバックグラウンドレベル(0.05~0.1mSv/h: $\gamma + \beta$ 線 (70 μ m線量当量率))であることから、雨水と思われる

<http://saigaiyouhou.com/img/toudennsiryu082304.jpg/> Close or Esc Key

2. 備考（以下の点など、可能な範囲で御記入いただけますようお願いいたします）

・開発・実用化の状況（国内外の現場や他産業での実績例、実用化見込み時期を含む）

開発要素は全くなく、即時実行出来ます。

タンク群を配置する時のエンジニアリングの常識です。

・開発・実用化に向けた課題・留意点

置き換える溶接タンク群の設計にも反映してください。

連結は 充填時の便利の為に配管があると思われませんが、充填時のみフレキシブル配管とし、充填後は速やかにフレキシブル配管をはずしてください。

・その他（特許等を保有している場合の参照情報等）

なし